

全国協議会 ニュース

2012年10月1日発行
第244号

発行所
特定非営利活動法人
全国骨髓バンク
推進連絡協議会
〒101-0031 東京都
千代田区東神田1-3-4
KTビル3F
TEL.(03)5823-6360
FAX.(03)5823-6365
発行責任者:中野勝博
http://www.marow.or.jp/
E-mail:office@marow.or.jp

郵便振替口座
00150-4-15754
銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655

新法制定される!

消費増税法案が議論され
混沌とした政局運営が続く
なか、2012年9月6日の
衆議院本会議において、「移
植に用いる造血幹細胞の適切
な提供の推進に関する法律」
法案が可決されました。平成
25年度の予算措置を経て早
ければ平成25年度下半期にも
施行されることになりました。

これは、全国協議会のみ
ならず、ボランティアとして長
年骨髓バンク事業に関わって
きた人達の悲願でもありまし
た。

およそ2年前の2010年
12月18日に、この法案制定を
占う会議が開催されました。
それが、全国協議会主催の造
血細胞バンク・市民シンポジ
ウム「骨髓バンク・さい帯血
バンクの抜本的制度改革への
道すじ」造血細胞移植推進法
(案)の制定に向けた戦略」
でした。法制化に向けて全国
協議会としても全面的に取り
組むことを社会にアピールし
た最初の機会だったわけであ
る。この終盤には参加者一同の
アピールが採択されました。

当協議会としては、その後
はボランティア団体全体の
大きなうねりを巻き起こすま
では至りませんでした。関
係者に造血細胞バンクの設立
という新しい機構のあり方の
認識を醸成する一歩にはな
ったものと思われまふ。これは、
2007年9月27日に「造血

細胞移植医療将来像に関する
検討について報告書」(造血
細胞移植医療将来像検討会議
/四方田淳座長)において、
骨髓バンクとさい帯血バンク
を統合した新たな造血細胞バ
ンクの設立、移植病院のセン
ター化を骨子とする提案に端
を発し、財団からも「将来展
望に関する検討会議答申書」
(2008年3月5日、伊
藤雅治座長)が提出されてい
ます。

医学会でも、当協議会の市
民シンポジウムと時を同じく
して動きがありました。日本
造血細胞移植学会において
「幹細胞移植法・幹細胞バン
ク検討会議」が招集され、医
学会としてもイニシアティブ
をとりながら進めることが確
認されたばかりでした。

今まで、十分な法的根拠が
無いままに、運用のルール、
組織の自助努力に頼って経営
してきた事業主体が、財政的
裏付けが不十分のまま、むし
ろこれまで移植症例を重ねて

きたことに疑問すら感じてし
まうことと思います。

そうした意味で、今回、公
的骨髓バンク設立から大きく
時間が経過しましたが、根拠
法となる新しい法律が制定さ
れたことは何よりも歓迎すべ
きことと感ずります。

しかし、まだまだ生まれ
ばかりの、「ひよこ状態」で
あるこの法律が、真に患者救
済のための根拠法として事業
主体の改革、仕組みの改編を
含めて意味のあるものとなる
か、或いは既存路線の踏襲の
みで逆に新たな枠組みの策定
の足手まといになるかは、こ
れからの育て方次第です。そ
うした意味でも、今後法制定
後の仕組みを検討する公開
フォーラムの場でも議論を重
ねたいと思ひますが、関係者
が一堂に会して同じ方向に向

いて患者支援への足がかりと
なり、造血細胞移植医療を取
り巻く環境が益々発展するこ
とを注視したいと考えます。
(三田村)

三つのNPOで共催 医療フォーラム in 仙台

9月16日、仙台商工会議所
にて、全国協議会、NPO
法人血液情報広場つばさ、
NPO法人日本臨床研究支
援ユニットが電話情報セ
ンターの共催による、医療

フォーラムが開催されました。
フォーラムは、全体会・ラ
ンチオンセミナー・疾患別分
科会・全体会の4部で構成さ
れ、その内容は、血液がんの
病態とその治療、病中・病後

統合への期待が充満 骨髓バンク・さい帯血バンク合同全国大会

先月号で既報のとおり、9
月15日仙台市太白区文化セン
ターにて、「骨髓バンク・さい
帯血バンク合同全国大会
2012 in 仙台」が開催され
ました。

何よりも初めての合同全国
大会であること、そして「移
植に用いる造血幹細胞の適切
な提供の推進に関する法律」
が可決された直後の大会であ

ることから、関係者には感慨
と期待に満ちた大会となりま
した。小宮山厚生労働大臣自
ら臨席のもと、関係者の挨拶
来賓の祝辞の中にもそこに思
いがこめられていました。

主催者挨拶に続き、造血幹
細胞移植を受けられず無念に
もステージを去っていった
方々への黙祷が行われ、胸中
には力足らずの活動への反省
もぎざしました。

事業報告に見る移
植実績や特に大震災
における両バンクの
協働については、大
きな評価がなされる
べきことと思ひます。
また、地元宮城県
立がんセンターの、
被災の実態とその対
処の報告には、医療
者の努力に感動を覚
えました。

シンポジウムでは、
患者さんの感謝の言
葉の一方で患者負担
金の解消を訴える言
葉、コーディネート
のQOL、患者や患者家族の
メンタルヘルスなど多岐にわ
たりました。

全国協議会はランチオンセ
ミナー「聴ききる」という
支援のあり方を共に考えよ
う」で、開設して17年目に入
る「白血病フリーダイヤル」
での相談業務について小川理
事が報告をしました。

各セッションでは、来場者
から多数の質問が寄せられ、
多くの人が「疑問解決
の一日」になったことは間違
いないでしょう。私自身、こ
のようなフォーラムを開催で



きたことを嬉しく思うと同時に、
感情を得られたことをありが
たく感じています。(野平)

代表者会議開催

9月16日早朝2012年
度第2回代表者会議が開かれ
ました。

全国協議会から概算要求の
説明の他、各地の活動報告が
行われました。

参加団体からの感想です。

◆各地の活動報告を聴くこと
で新たな気付きも有り、今後
の参考になった。顔の見える
意見は前に進むために大切な
ことですが、和やかな雰囲気
が良いですね。今回同じ日に
同じ場所でフォーラムが行わ
れたのは、意義深かった。
(匿名)



お詫び

前号243号(9月1日号)
に掲載致しました「東日本大
震災被災患者支援基金」に寄
付をお寄せ下さいました会社
名に一部誤りがございました。

誤り丸善商事株式会社
正丸善商事株式会社
訂正させていただきますと
ともに、関係各位に深くお詫
び申し上げます。

東日本大震災 被災患者支援基金

8月21日～9月20日

ノーレート麻雀ネットワーク	ニューロン	現金 100,000円
埼玉骨髓バンク推進連絡会		現金 14,961円
越田 光重		現金 3,000円
福原 卓也		現金 2,000円
		(敬称略)

寄付受入 合計8,489,830円
給付実績 42件 合計7,123,163円

基金積み増しにご協力ください

●郵便振替(通信欄に震災支援と記載)
特定非営利活動法人 全国骨髓バンク推進連絡協議会
00150-4-15754
●銀行の場合
特定非営利活動法人 全国骨髓バンク推進連絡協議会
ゆうちょ銀行 008店 普通 4799951

骨髓バンクの最新情報をお知らせする

(財団マンスリーJMDP(9月14日発行)より抜粋)

●10月は骨髓バンク推進月間です!
今年も骨髓バンク推進月間がやってきます。10月は全
国各地で数多くのイベントが開催されるほか、各メ
ディアでも骨髓バンクが紹介される予定です。これらイ
ベント等の開催を企画されている支援団体の方でポ
スター等の広報資料をご希望の場合は、財団の広報
渉外までご連絡ください。

●愛媛県・四国中央市で提供ドナーへの助成制度がスタート
10月より愛媛県四国中央市において骨髓及び末梢血幹
細胞を提供されたドナーのための助成制度が導入されま
す。これは、ドナーとドナーが従事する事業所を対象に「骨
髄及び末梢血幹細胞提供ドナー」には提供1回につき10万
円、ドナーが従事する同市内の事業所には提供1回につ
き5万円支給する」というものです。先に提供ドナーへの
助成制度を導入している新潟県加茂市、鳥根県浜田市、
益田市に次ぐ全国で4例目の事例で、今後、各市町村に
拡大されていくことを期待します。

●非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科の認定
について

以下の施設が新たに非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・
移植診療科として認定されました。これまでに認定され
た施設は37施設です。

◆非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科
大阪母子保健総合医療センター 同左 血液・腫瘍科
●「2012/13 Vリーグ」開幕! ファイナル
では骨髓バンク支援イベントを開催
例年、骨髓バンクにご支援いただ
いているVリーグ「2012/13Vリーグ」が11
月3日のプレミアリーグを皮切りに今年
も開幕します。ファイナルラウンドでは、
骨髓バンクの基金活動及びドナー登録
のほか、チャリティーオークション等
を予定しています。

●杉内投手がドナー登録を呼びかけ
8月30日、福島県郡山市の開成山球
場で行われた巨人対中日の試合にお
いて、読売巨人軍の杉内投手が骨髓バ
ンクのドナー登録を球場のオーラビ
ジョンの映像で呼びかけました。杉
内投手に

骨髓バンク NOW

は従来からポスターの自費製作で骨髓バンクを支援して
いただいております。当日は、福島県立医大付属病院の患
者さんやその家族30人が試合に招待され、杉内投手のサイ
ン色紙がプレゼントされました。

◆日本骨髓バンクの現状(平成24年8月末現在)				
	7月	8月	現在数	累計数
ドナー登録者数	3,591	3,407	416,763	553,235
患者登録者数	232	257	2,749	36,589
移植例数	116	113	-	14,603

■8月の年齢別ドナー登録者数(現在数)
10代 2,599人 / 20代 70,403人 / 30代 152,715人 / 40代
153,230人 / 50代 37,816人
■8月の区分別ドナー登録者数: 献血ルーム / 1,290人、献血併行型集
団登録会 / 1,950人、集団登録会 / 77人、その他 / 90人
■8月の20歳未満の登録者165人

注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。
平成24年7月より集計方法が変更されました。

新田恭平事務局次長就任 事務局のお手伝いをさせていただきます



本年9月の初めから事務局入りさせていただくことになりました。出身は東京の会で、現在も東京の会員です。ボランティア活動に入って約18年になります。全国協議会には活動を始めたばかりのころ二期程運営委員を務めた経験がありますが、後期高齢者になっていますが、いまでもい

インターンシップ制度で 事務局員を体験しました

蛭川梨弥

私は、平成24年8月21日から27日の5日間、全国骨髄バンク推進連絡協議会さんでインターンシップによる就業体験をさせて頂きました。

埼玉県鴻巣市で行われたイベント(登録会)では、実際に親戚の方が移植を体験した方や、血液の病を知る方にお会いして、お話を聞いて、今の自分の健康な体がどんなに素晴らしいことか、自由に動いて行動出来るのがどんなに素敵なことか、考えを改めてさせて頂きました。

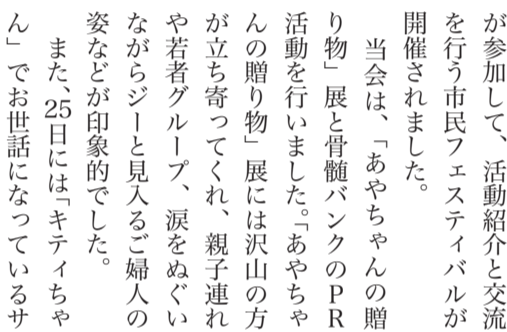
自民党 VS NPO 政策意見交換会

8月23日、自民党本部にてNPO団体との政策意見交換会が開催され、自民党からは谷垣禎一総裁をはじめ、茂木敏充政調会長他の方々が出席されました。

この意見交換会では、およそ40の団体が政策要望などを発表し、全国協議会も昨今の話題となっている「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供



の推進に関する法律」に関し、より患者に寄り添った法律であるよう、また法律が患者の立場にたつて運用されるよう要望しました。



今回のような意見交換会は、地方の県連レベルだと行われている地域もあるようですが、党本部からお声がかかったのは初めてのことでした。ぜひ、今後も継続して定期的に開催いただき、市民に根ざした活動を行う私たちの声を聞き、国民のために政治活動を行っていただきたいと切に思いました。

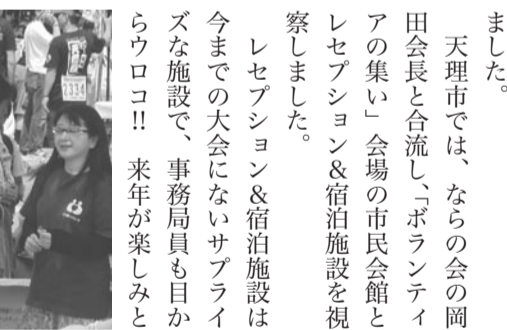
各地のたより 各々

埼玉

さいたま市市民フェスティバルで「あやちゃん展」を開催されました。



8月25、26日 浦和駅東口のさいたま市民活動サポートセンターで、約120の団体が参加して、活動紹介と交流を行う市民フェスティバルが開催されました。



当会は、「あやちゃんの贈り物」展と骨髄バンクのPR活動を行いました。「あやちゃんの贈り物」展には沢山の方が立ち寄ってくれ、親子連れや若者グループ、涙をぬぐいながらジーと見入るご婦人の姿などが印象的でした。

奈良 事務局3行来たる 来年の大会は奈良!!

今年で18回を数える「全国金魚すくい選手権大会」が8月19日に大和郡山市で開催されました。

例年「なら骨髄バンクの会」は、子供会連合会のブースで骨髄バンク啓発を行っており、今年は全国協議会事務局員4人と営事務局長が、来年、天理市で開催される「ボランティアの集い」の会場と宿泊場所の視察を兼ねて、大会会場に来られました。

言っていたきました。来年20周年を迎えるならの会の岡田会長をはじめ会員一同は、大会成功に向けて、準備を進め、皆様のお越しを心よりお待ちしております。(ならの会 山村)

奈良 骨髄バンク支援 シャンソンコンサート



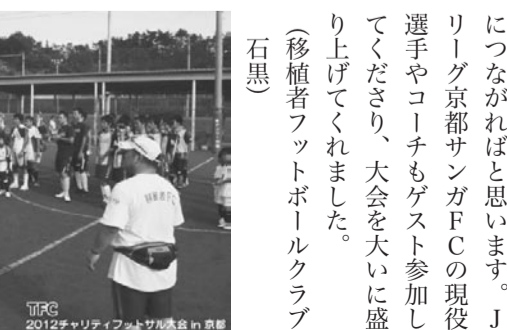
9月20日奈良市の秋篠音楽堂で「第13回骨髄バンク支援シャンソンコンサート(愛のかけはし主催)」が開催され、シャンソンファン120名のお客様が来場されました。

骨髄バンク支援コンサートは関西各地を回って、歌手の方が次々とシャンソンを30曲歌い、合間に来場者へ骨髄バンクのPRを行います。

京都 サッカーで普及啓発 Jリーグもきたぞ

9月16日に京都府城陽市のサンガタウンにて、チャリティフットサル大会を開催しました。サッカーを通じて病

気や移植医療に関心を持ってもらい、移植医療やドナー登録への理解を深めていただきました。計80名が選手として参加し、お連れのご家族や友人の方にも骨髄バンクに関するパンフレット等をお配りし、啓発を行いました。また、クラブの代表であり移植経験者である水野誠也が大会に出場し、元気な姿を見せてくれました。現在病氣と闘っている多くの患者を勇気づけることにつながると思います。Jリーグ京都サンガFCの現役選手やコーチもゲスト参加して下さり、大会を大いに盛り上げてくれました。(移植者フットボールクラブ 石黒)



心からのご寄付に 感謝申し上げます

8月21日~9月20日

TDK労働組合東日本本部	現金	105,985円
ノーレート麻雀ネットワーク	ニューロン	現金 200,000円
株式会社ユナイテッドスペース		現金 4,900円
青野 靖之	現金	70,000円
飯島 孝枝	現金	2,340円
折橋 尚道	現金	10,000円
塩谷 圭	現金	1,000円
鈴木 純子	現金	1,340円
成田 勝雄	現金	200,000円
匿名	現金	5,000円

●白血病患者支援基金

オクサダ薬局	現金	13,381円
やきとり おぼこ	現金	18,600円
嶋津 桂子	現金	3,000円
村山 静香	現金	3,000円
山口 敏美	現金	1,000円

●佐藤さち子患者支援基金

財団法人 倉敷中央病院	現金	3,225円
宇田 育美	現金	10,000円
酒井 賀世	現金	1,500円
トリイ コズエ	現金	10,000円

(敬称略)

活動資金の援助をお願いします
 銀行口座 三井住友銀行 新宿通支店 普通 5666655
 郵便振替口座 00150-4-15754
 特定非営利活動法人
 全国骨髄バンク推進連絡協議会
 ※国税庁より「認定NPO法人」として認可されていますので、寄付控除の対象となります。



関西骨髄バンク推進協議会様が、毎回説明役として登壇されるのですが、今回は奈良での開催ということで、私に説明役が回ってきて骨髄バンクの必要性とドナー体験をお話しさせて頂きました。

